

保健医療福祉行政論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・齋藤昭彦

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：44

■ 授業概要

地域保健、高齢者保健福祉、母子保健等の保健・医療・福祉に関する関係法規・制度全般の概要について講義し、国及び地方自治体の保健医療福祉行政の仕組みや役割、その政策と動向等に関する知識を修得するとともに、看護活動と関係法規・制度の関連を地方自治体の具体的な実践例を通して教授する。

■ 到達目標

1. 保健医療福祉行政の理念と仕組みについて理解し、説明できる。
2. 保健医療福祉に関わる政策と動向が理解し、説明できる。
3. 看護活動に関連付けて保健医療福祉政策について考察できるようになる。

■ キーワード

保健行政、医療行政、福祉行政、関係法規

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	保健医療福祉行政の基本	保健医療福祉行政の基本 公衆衛生の理念と戦略	齋藤
2	保健医療福祉制度の変遷①	公衆衛生の基盤形成	齋藤
3	保健医療福祉制度の変遷②	保健医療福祉行政の動向	齋藤
4	保健医療福祉行政・財政の理念としくみ①	国・都道府県・市町村行政のしくみと役割 行政における保健師の役割と活動	齋藤
5	保健医療福祉行政・財政の理念としくみ②	保健医療福祉の財政 公衆衛生に関する国際的な活動	齋藤
6	地域保健行政と保健師活動①	地域保健に関する公的な機関（保健所・市町村保健センター）	齋藤
7	地域保健行政と保健師活動②	関係機関との連携	齋藤
8	社会保障制度と政策① 第1回小テスト	社会保障制度の理念としくみ	齋藤
9	社会保障制度と政策②	医療制度と政策	齋藤
10	社会保障制度と政策③	介護保険制度	齋藤
11	社会保障制度と政策④	社会保障・社会福祉の制度①	齋藤
12	社会保障制度と政策⑤	社会保障・社会福祉の制度②	齋藤
13	保健医療福祉の計画と評価①	地方公共団体の保健医療福祉計画	齋藤
14	保健医療福祉の計画と評価②	保健計画の策定プロセス	齋藤
15	保健医療福祉の計画と評価③ 第2回小テスト	保健計画の推進と評価	齋藤

■ 履修条件

公衆衛生学・疫学、ヘルスプロモーション論、地域看護学概論を履修していること。

■ 成績評価方法

授業内に2回（第8回と第15回）の試験（各50%、計100%）を実施する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・試験実施直後に試験の採点基準と解説をする。

■ 教科書

- ・藤内修二他著（2021）『標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 第5版』医学書院

■ 参考書・参考資料等

参考図書としますが、必ず購入する必要はありません。

- ・厚生労働統計協会編（2023）『国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。
- ・事前学修として、指定された範囲の教科書を読み、内容をノートに要約すること。
- ・事後学修として、授業時配布資料とノートを読み、内容が理解できているかどうかを確認すること。

■ 担当教員からのメッセージ

看護活動に関わる基本的な知識です。皆さんの弱点となりやすい科目ですので、しっかり理解して期末試験に臨んでください。看護師国家試験にも大きく関わる分野です。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

講義終了後の時間を設定します。

その他は学務課へお問い合わせください。

■ **担当教員の実務経験の有無**

有

■ **担当教員の実務経験**

自治体職員（県・市町）としての保健福祉行政実務

■ **教員以外で指導に関わる実務経験者の有無**

無

■ **教員以外で指導に関わる実務経験者**

■ **実務経験を活かした教育内容**

自治体職員としての保健福祉行政の実務経験とその経験に基づく大学教員としての研究を活かし、わが国の保健医療福祉行政について、関係法規を概説し、行政実務経験を踏まえて具体的な保健医療福祉行政の実際について講義を行います。